

令和4年度 学校評価項目

教職員による自己評価

【教育方針】

校訓「自主、敬愛、創造」のもと、自立して生涯にわたって夢や目標に挑戦し、ふるさとを愛し、他者と協働しながら、地域社会を切り拓く有為の人材を育てるために、「確かな学力」・「豊かな心」・「健やかな体」の育成を図るとともに、「公共の精神」と「郷土を愛する心」を養う。

【教育目標】

- (1) 活気に満ちた安心安全な学校づくり
- (2) 豊かな人間性と社会性を育む学校づくり
- (3) 地域に信頼され親しまれる開かれた学校づくり

4 : よくできた 3 : できた 2 : あまりできなかった 1 : できなかった

領域	評価の観点	評価項目	番号	実践目標	R4評価	R3
学校運営	開かれた学校づくり	家庭や地域への情報発信	1	学校HPを随時更新する。	2.1	1.6
			2	「学年通信」を発行する。	3.2	3.5
			3	オープンハイスクールや中学校訪問等を通して、新しい取組について周知させる。	3.3	3.5
		地域への声をいかにした学校運営の推進	4	学校評議員会、伊和の里ひとづくり懇話会、生涯教育推進協議会、伊和高等学校教育振興協議会等を通じて地域と課題を共有し、地域と連携しながら学校改善に努める。	3.1	3.1
		地域と連携した行事等への参加	5	積極的な参画を促し、熱意と誇りを持ってふるさとで生きる自覚を育成する。	3.1	3.0
	生徒指導	生徒指導体制の充実	6	生徒の実情に応じた指導内容を全職員で共有し、一貫した生徒指導を展開する。	2.9	3.5
		生徒の内面を理解する工夫	7	キャンパスカウンセリングやカウンセリングマインド研修を適切に実施し、生徒の内面を理解するとともに、その健全な成長を支援する。	3.4	3.3
		いじめ対応	8	いじめ防止対策推進法について職員が理解を深めている。	3.1	3.1
			9	いじめ対応について、組織的に対応できる体制ができており、組織的に対応している。	3.3	3.5
	進路指導	進路指導体制の充実	10	3年間を見据えて、進路指導に関する年間計画を作成し、組織的・継続的に進路指導を実施する。	3.2	3.2
		職業観・勤労観の育成と進路意識の向上	11	進路講演会・進路別説明会・卒業生との懇話会・インターンシップ等を実施し、適切な進路目標を決定させる。	3.4	3.4
	教職員の資質向上	実践的指導力の向上	12	全職員が実践的な指導技術や専門性の向上を目指し、校内外の研修等に参加する。	3.1	3.4
			13	定期的に公開授業・研究授業を行う。	2.8	2.8
		効果的なOJTの実施	14	専門部と学年との相互乗り入れ等による協働体制をいかにし、教職員間で常に学びあうことで組織力を高める。	3.0	3.0
危機管理体制の整備	危機管理体制の推進	15	平時においても環境整備等、常に安全・安心について意識して、危機発生に備えた研修や訓練等を実施する。	3.3	3.1	
インクルーシブ教育	教育的ニーズへの対応	16	特別な支援が必要な生徒について全職員で共通理解を図り、「合理的配慮」に基づいた適切な支援を実施する。	3.1	2.8	
人権教育	人権教育の推進	17	学校の教育活動全体を通じて自分や人を大切にする態度を育成するとともに、職員も生徒の範となるよう、人権に配慮した言動を心がける。	3.4	3.3	
特色選抜生	地域で活躍するリーダーの育成	18	個別に選択した課題研究の活動を支援するとともに、校外研修や大学との連携を通してリーダーとしての自覚を育成する。	2.8	2.9	
勤務の適正化	効率の良い勤務形態の推進	19	校務分掌や学校行事の精選、適切な勤務の割り振り等を実施し、勤務時間の適正化を図る。	2.9	3.0	
教育課程	確かな学力の育成	基礎・基本の徹底	20	生徒の特性に合った授業形態を工夫して学習意欲を引き出し、基礎基本の確実な定着を図る。	3.2	3.5
		主体的・協働的な学習の展開	21	主体的・対話的で深い学び等の視点から授業改善に取り組む。	2.9	3.0
			22	評価方法について協議し、各教科・科目において観点別評価を工夫する。	3.0	2.8
	特別活動	部活動や生徒会等の活性化	23	生涯学習の一環に部活動を位置づけ、卒業後の豊かな社会生活に資する。また、全校集会や学校行事の運営等について生徒会の主体的な活動を促す。	3.0	3.1
	特色選抜の改編	地域事業所と連携したカリキュラムの策定	24	キャリア教育類型の「キャリア実習」実施において、授業内容の充実に努め、その概要を固める。	3.4	3.1
			25	地域の事業所等との連携を図るために、企業訪問や連絡協議会等で、事業所との連携を構築していく。	3.5	3.3
通級指導	通級指導の充実	26	通級指導の充実を図るため、通級に関する知識や情報を共有し、生徒への適切な対応ができる。	2.1	2.2	